市民のひろば

掲示板

◆ビューティー&コキーズ演奏会2012

【日時】7月8日（日）14時開演

※入場無料

【場所】中央公民館ホール

【演奏曲】サリマライズ・夏は来ぬ・海・砂山・七つの子・惜別の歌・琵琶湖周航の歌・歓喜の歌　ほか

【問い合わせ先】三谷誠郎☎52・4832

まちの声

◆市民憲章について
（第24回かみかみクイズ応募から）

すばらしい市民憲章おめでとうございます。ごくろうさまでした。この目標に向かって考え、努力していきたいと思います。

◇　◇　◇

市民憲章のように市民が住みやすく希望のあふれる香美市となるよう願っています。

◇　◇　◇

本文の5項目が実感できる市づくりに住民として協力します。

◇　◇　◇

市民憲章ができたことうれしく思います。豊かな自然に恵まれているのに、道端には空き缶やプラスチックが捨てられ、悲しく思います。税金に苦しみながらも、毎日まずまず元気に過ごせることに感謝しています。

◇　◇　◇

本文の「互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう」ですが、高齢化が進み、買い物や通院にも不自由な状態をなんとかできないものか？

◇　◇　◇

悪くはないと思うが、人口減が続いている状態をなんとか止められないか。

◇　◇　◇

香美市民の心のよりどころにしていきたいですね。

◇　◇　◇

市民の心の温かさを高め、香美市を愛し、定住促進のまちづくりを推進すると共に、子どもたちにもやさしく、思いやりのある、支えあいと心豊かな人づくりにも大いに役立つと私は思います。民生児童委員として、この市民憲章を大切にし、活動の柱のひとつとしたいと思います。

◇　◇　◇

まちづくりのためにいいことだと思います。

◇　◇　◇

目高い目標ではなく、ごく身近で誰もが願う想いなのが良いと思います。心安らぐ町、実現するとうれしいですね。

◇　◇　◇

おたんじょうび おめでとう

今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

※㊤は土佐山田町、㊧は香北町、㊥は物部町です。

掲載を希望される方はお問い合わせください。締切日は誕生月の前月1日まで。
問 総務課☎53－3112

香美市民憲章 －平成24年4月1日制定－

1、豊かな自然を守り、美しいふるさとを未来に届けましょう。
1、互いに思いやり、ささえあう、心安らぐまちにしましょう。
1、歴史に学び、伝統を守り、高め、文化の香りあふれるまちにしましょう。
1、子どもたちの笑い声は宝物、みんなで見守り育てましょう。
1、感謝の気持ちを大切に、元気で働き、仲よく住みよいまちにしましょう。

（山田高校マンガ部）

香美史探訪記 第36回
安丸城跡と安徳天皇伝説（物部町安丸）

物部町安丸の安丸城跡への石段を登ると、二ノ段（うまやとこ）～虎口～詰ノ段に至る。広さは16m四方の方形で、切り取りや土塁が残る半孤立状の山城である。説明板には次のようにある。

国吉城ともいう。鎌倉時代の初め、壹岐中納言が相模の国から槇山の小峯に落ちて来た。その子に山内重高を得て、孫国吉は、槇山梶ケ谷に居城していたが、後に韮生の安丸城を築いた。子国重は、姓を安丸、名を弥太郎と改め、安丸家のもととなった。後略

安丸氏は、山田氏に仕え、後には長宗我部氏に従った。国吉の二男**五郎兵衛尉**が柳瀬城を築き、久保氏・安丸氏・柳瀬氏の時代が、この地域の隆盛期といわれている。

ここの城八幡は、立派なもので内に本殿を持っている。奉賀版によれば、宝暦13年（1763）、安丸村名元（名本）**長右衛門**以下が遷宮し、明治26年に現在宮が再建されたことが分かる。この八幡宮は代々安丸氏が祀ってきており、次のような安徳天皇の伝説がある。

文治2年（1186）、源義経が屋島浦の行宮を奇襲した際、天皇は海上に逃れたように見せ、陸路を阿波から逃れ、物部町**高板山**（皇ノ居夕山）赤牛に住まわれた。文治5年（1189）、崩御せられ、二ノ森の頂上に山石を畳んで御陵とした。

八幡宮には、平家の家紋である**揚羽蝶の紋章付き鏡**（直径10㎝）が伝わるが江戸時代に造られたレプリカである。

例年、8月15日が祭日で、宮前祭と高板山で慰霊祭が行われている。

（香美史談会）

安丸城跡八幡宮

黒代
安丸城跡
安丸
安丸郵便局
柳瀬
至 大栃

ただいま留学中61 ピヤポン・ジャンマイモール（タイ バンコク）

皆さん、こんにちは。私はタイのバンコックから来たピヤポン・ジャンマイモールです。去年の9月に香美市に来ました。高知工科大学の博士課程の1年生です。

渡邊法美教授の下、環境マネジメントを勉強しています。私は住んでいる土佐山田町が大好きです。きれいな自然と美しい文化があります。町の北側に山があり、町の近くを川が流れています。それは町のとても美しく魅力的な風景です。

私の近所の人々はとてもフレンドリーで親切です。お互いを知らないけれど、日本の方は常に私を温かく迎えてくれます。ここは日本の文化を学習するのに最適なところです。

例えば、私は母国を紹介するために香美市の小学校と高知市の高校に行きました。多くの学生がタイの文化を知ることに熱心でした。私の紹介したタイの言葉を熱心に練習してくれたことは非常に印象的でした。ほかにも、『物部川川祭り』『生け花展』『お山のエコ祭り』などにも参加しました。

最近、私は日本での生活をもっと楽しめるように日本語を勉強しています。日本語はとても難しいです。しかし、日本語を勉強することで日本の文化を学ぶ多くのチャンスが得られるし、新しい友人を持つためにも非常に価値があることだと思います。

香美市の皆さん、これからもどうぞよろしく。